

提言 12

「カイリユ」が福井応援

以前、北陸新幹線開業の盛り上げに向けてポケモンのキャラクターを使って福井県をPRする取り組みを進めるべきと議会で提言しましたが、この内容が採用されて県とポケモン社が誘客促進へ協定を結びました!



福井新聞(2023年10月24日付)

提言 13

こどもの明るい未来推進議員連盟

今期からこどもの明るい未来推進議員連盟と福井県プロスポーツ議員連盟の会長に任命されました。そして先日、杉本知事に日本一の子育て環境になるように要望してきました!



福井新聞(2023年10月1日付)

その他の提言内容

- ★嶺南をスポーツツーリズムの聖地に
★副業・兼業支援を
★奨学金返済支援制度を大学等高等教育の国の支援に上乗せで県独自の支援を
★新幹線開業後の学生の進学・就職について
★理系人材の受け皿について
★奨学金代理返還制度について
★恐竜活用について
★ふるさと教育について
★不妊治療について
★市場活性化について
★ひとり親家庭の子どもの習い事について
★タクシー(代行)支援について 等

清水智信



【その他の公職】

- 自民党福井県連政調会長
●スペシャルオリンピックス日本・福井理事長
●福井県エスキーツennis連盟会長
●福井県ウエイトリフティング協会会長
●こどもの明るい未来推進議員連盟会長
●福井県プロスポーツ議員連盟会長

皆さま、いつもあたたかいご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後共、愛する故郷「福井」の為に、全身全霊で頑張っておりますので、今後も変わらぬご支援を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

- FAX:0776-52-2021
●E-mail:tomo_09_05_0810@yahoo.co.jp

Official Web Site, Facebook, Instagram QR codes and social media icons.

福井県議会議員

しみず とものぶ



清水智信 NEWS-11



清水智信事務所:〒910-0837 福井市高柳3丁目2801
TEL.0776-52-2630 FAX.0776-52-2021 E-mail:tomo_09_05_0810@yahoo.co.jp

ごあいさつ

この度の能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。今後とも県としても引き続き全力で支援してまいりますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。



福井新聞(2024年1月27日付)

インフラ早期復旧 自民本部訪れ要望
山崎県連会長ら 自民党県連会長の山崎正昭参院議員は25日、党本部で...

取り組みの成果

提言 1

スポーツコミッションを機能強化しスポーツ大会の開催や誘致を

専属職員の配置など機能強化を図り、スポーツ大会の開催やナショナルチームの合宿誘致などを提言し、今年度予算で実現できました!

Table with 2 columns: Project Name and Amount. Includes 'Sports Commission Advancement' (362,240千円) and 'Sports Commission Office Operation' (117,277千円).

提言 2

一般のスタートアップ支援拡充や駅前に起業支援センター設置を

駅前に起業支援センターの設置や一般のスタートアップ支援の拡充を提言し、今年度予算で民間が駅前に整備するインキュベーション施設の支援に加え、新たに県の起業支援チームもそこに入居し、起業支援センターを設置しスタートアップ支援を行っていくことが決まりました。

Table with 2 columns: Project Name and Amount. Includes 'Innovation Creation Advancement in City Centers' (103,354千円).

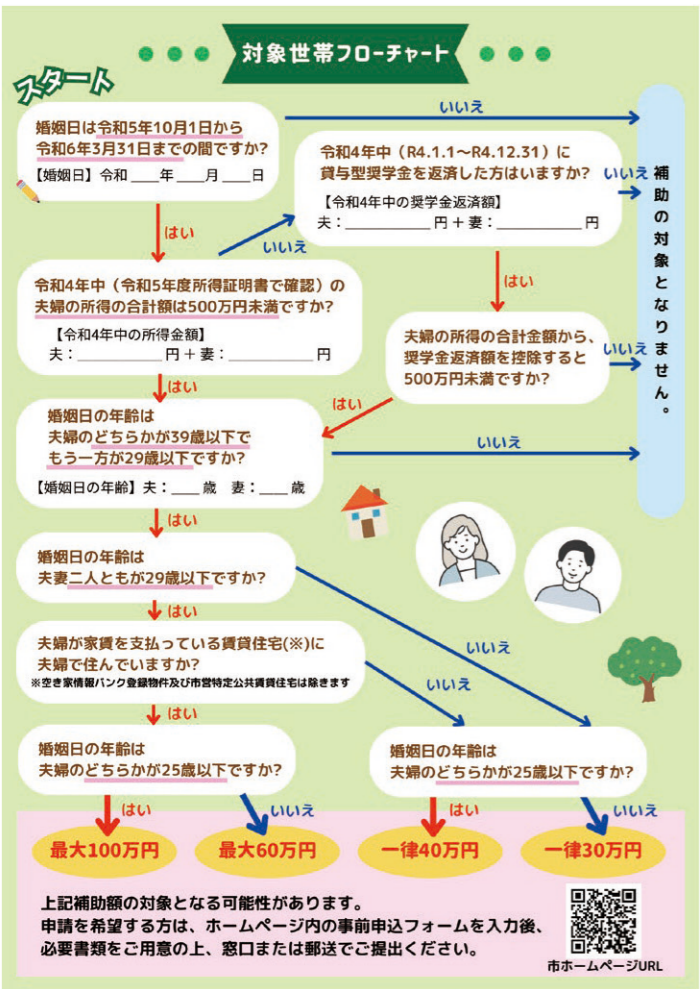
●知事: 旗印になるような起業支援センターが駅前にあると、あの場所に行けば支援を受けられるという流れになり、ビジネスアイデアやデジタルスキルがある方々の支援の仕方はいろいろあると思いますので、引き続き、さらにこのスタートアップ支援が強化できるように、努力していきたいと思っています。

提言 3 ふくいイノベーション 人材育成事業

昨年、県内の企業人材の育成、リスクリングを強化すべきと提言し、ふくいイノベーション人材育成事業ができました!これは、高度人材の育成を促進するため学位取得や共同研究を目的として、国内外の大学院や研修機関等に社員を派遣する企業を支援する事業です。今後、県内大学や産業技術総合研究所とも連携し、もっと使いやすい支援になるよう提案していきます。

提言 4 日本一の結婚生活 スタートアップ応援事業

昨年12月議会で若者が結婚に前向きになれるよう、式場の支援だけでなく直接的な経済的支援をすべきと提言し、日本一の結婚生活スタートアップ応援事業ができました!これは、国の制度に県と市がさらに上乗せ支援し若者の結婚への機運醸成や負担軽減を図る事業で最大100万円の支援を受けられます。(県の支援分は奨学金の返済等にも使用可)もちろんお金の支援を受けられるから結婚するのは全く違いますが、少しでも若者や父母の負担を減らし、福井県は若者を全力で後押しします!結婚から子育てまで切れ目なく支援するという力強い姿勢が重要です。



提言 5 日本一の多子世帯支援制度

以前から日本一の多子世帯支援を教育費で一番お金のかかる高等教育の授業料負担軽減をと提言してきましたが、今回の当初予算で日本一の多子世帯支援制度ができました!これは、第2子(0~2歳)の保育料完全無償化や多子世帯の高校授業料完全無償化、県内の大学・短大・専門学校等に進学の場合、国の高等教育就学支援制度に県がさらに上乗せで支援し、子供2人以上の所得300万円までの世帯は授業料全額免除、所得380万円までの世帯では授業料3分の2免除、子供3人いる所得600万円までの世帯は授業料2分の1になります!今後も子供を安心して産み育てたいと思えるように頑張っていきます!

多子世帯支援を検討 若者の結婚負担軽減も

県会一般質問

県会16日、本会議を開き、野田哲生議員(民主)から「多子世帯支援」に関する一般質問がなされた。人保少対策として、本県は多子世帯に子育て支援を充実させる必要がある。多子世帯に子育て支援を充実させる必要がある。多子世帯に子育て支援を充実させる必要がある。

野田議員は「多子世帯に子育て支援を充実させる必要がある。多子世帯に子育て支援を充実させる必要がある。多子世帯に子育て支援を充実させる必要がある。」と述べた。

本会議では、野田議員の一般質問に対し、清水知事(自民)が答弁した。清水知事は「多子世帯に子育て支援を充実させる必要がある。多子世帯に子育て支援を充実させる必要がある。多子世帯に子育て支援を充実させる必要がある。」と述べた。

多子世帯切れ目なく支援 県内大進学の減免も拡充

県補正予算案 財源確保へ基金50億円

県補正予算案は、多子世帯支援の拡充と、県内大進学の減免拡充を目的としている。財源確保のために、基金50億円を確保する。多子世帯支援の拡充と、県内大進学の減免拡充を目的としている。

財源確保へ基金50億円

県補正予算案

多子世帯支援の拡充と、県内大進学の減免拡充を目的としている。

提言 6 日本一の不妊治療制度

2024年度には100%県内で不妊治療の受け入れ体制ができます。以前は44%の方が県外で治療していました。昨年日本一の不妊治療の補助制度もでき、今後も子供が欲しい夫婦が安心して妊活できる環境を整えていきます!

不妊治療希望者全員に

24年度 県内体制整う

県会12日、本会議を開き、野田哲生議員(民主)から「不妊治療」に関する一般質問がなされた。人保少対策として、本県は不妊治療の受け入れ体制を整える必要がある。不妊治療の受け入れ体制を整える必要がある。

野田議員は「不妊治療の受け入れ体制を整える必要がある。不妊治療の受け入れ体制を整える必要がある。不妊治療の受け入れ体制を整える必要がある。」と述べた。

本会議では、野田議員の一般質問に対し、清水知事(自民)が答弁した。清水知事は「不妊治療の受け入れ体制を整える必要がある。不妊治療の受け入れ体制を整える必要がある。不妊治療の受け入れ体制を整える必要がある。」と述べた。

提言 7 アリーナ構想に 企業版ふるさと納税の活用を

経済界にも働きかけて企業版ふるさと納税を活用すべきと提言し、活用すると答弁を頂きましたので、民設民営が基本ですが行政として出来ることは全力で後押ししていきます!

提言 8 福井県版はとバス 「はぴバス」について

観光客の受け入れ体制強化、二次交通問題等を解決していくために、定期観光バスツアーの実現に向けて県、観光連盟、バス運行会社等が協力し、事業を継続できるコースとなるようなルート選定、採算性を考慮して進めてほしいです!

はぴバス11コースで運行 ツアー販売開始「定期」は土日祝

北陸新幹線 3/16 開業

はぴバス11コースで運行 ツアー販売開始「定期」は土日祝

北陸新幹線 3/16 開業

はぴバス11コースで運行 ツアー販売開始「定期」は土日祝

提言 9 健康政策について

社会貢献などボランティアをしたら地域通貨を与えて、もっと趣味などに誘導できるような政策で、65歳以上の趣味割、健康割など、何か年配の方々ももっと生き生きとやりがいを持てる、目標を持てる環境を応援すべきだと思います!人生100年時代の中で、幸福度日本一、若い人だけでなく年配の方々も生きがいを持ってできるような取り組みを推進していきます!

提言 10 福井県立大学に文系学部新設ならびにアオッサに サテライト教室新設について

以前から県にアオッサには図書館や大学連携施設「Fスクエア」があり、福井県立大学のサテライトキャンパスを誘致し、学びの拠点にすべきと提言してきました!また、街づくりにおいても福井駅の東口は学びやすスポーツ文化エリア、西口は商業エリアとすみ分けしていくべきと県や福井市に提言してきたので良かったです。引き続き取り組んでいきます!

名称は「地域政策学部」 県立大新学部 26年春開設へ

まちなかにキャンパス

名称は「地域政策学部」 県立大新学部 26年春開設へ

まちなかにキャンパス

名称は「地域政策学部」 県立大新学部 26年春開設へ

提言 11 電気代支援について

12月補正予算でも引き続き電気代高騰対策が出されましたが、6月議会においてこの補助制度は同じ苦しんでいる事業者でも業態によって支援を受けられる事業者と受けられない事業者がいて不公平ではないかと指摘し、9月補正においてこの補助要件が費用に占める電気、ガス料金の割合が5%以上から3%以上に引き下げられました!これでもまだまだですが少しでも困っている事業者へ支援がいくように、引き続き頑張ります!